

フリード スパイク (H22/7~H28/9) /フリード スパイク ハイブリッド (H23/10~H28/9)

〈本体商品の取付情報〉

年式	型式	車種	取付商品のサイズ	最大取付数		本体の取付方法					オプション		
				トレードイン	アドオン	キットレス	取付キット使用			備考		1D	2D
							型番	主な付属品	希望小売価格(税別)			46サイズ	46サイズ
H22/7~H28/9	GB3系 GB4系 GP3系	オーディオレス車 ナビ装着用スペシャルパッケージ付車 注1	標準モデル [2D]		×	KJ-H39DE④		P	6,000円	注2,3,4 5,6,7 8	◎	◎	Ⓜ注6
		M.OPのインターナビ付車	標準モデル [2D]		×	KJ-H39DE④		P	6,000円	注2,6,10 11,12	◎	◎	
ハイブリッドは H23/10~H28/9		D.OPの9インチナビ付車 注9	8V型							注13	-	-	
			標準モデル			×					注14	×	×

- (注1) H22/7~H23/10車のGiエアロ以外のグレード、およびH23/10~H26/4車の全車、H26/4以降車の一部グレードはオーディオレス(2D窓口・フロント2スピーカー付)が標準です。H26/4以降のオーディオレス以外の車両は、ナビ装着用スペシャルパッケージ(ラジオ非装備・2D窓口付で、リアカメラ・ETC車載器・照明付オーディオリモートコントロールスイッチ・4スピーカー・他付)が標準装備されています。
- (注2) 取付キットに同梱のサイドブラケットとパネルをセットし、粘着テープなどでステレオに固定した後、クラスター窓口の表側から挿入し、サイドブラケットと車種専用ブラケットを共締めして取付けます。なお、共締めする際、ステレオ本体に付属のネジでは長さが届かない場合がありますが、その場合は取付キットに付属のネジ(M5×8またはφ5×10タッピングネジ)など取付けるステレオに応じた長さのネジを使用します。
- (注3) H24/11に追加設定されたナビ装着用スペシャルパッケージ付車の場合は、車両のリアカメラ、照明付オーディオリモートコントロールスイッチ、デジタルTV用プリントアンテナは使用できません(但し、リアカメラについては注4、注5を、照明付オーディオリモートコントロールスイッチについては注6を参照してください)。
- (注4) ナビ装着用スペシャルパッケージ付車の場合、車両のリアカメラ配線にはそのままでは接続できません。別売の純正バックカメラコネクタ変換ケーブル RD-H101BC(希望小売価格3,000円、税別)を使用すれば、サイバーナビの2018年モデル(AVIC-CZ902等)、2017年モデル(AVIC-CZ901等)、2016年モデル(AVIC-CZ900等)に接続できる端子形状でリアカメラの映像を出力することが可能となります。
- (注5) ナビ装着用スペシャルパッケージ付車の場合、車両のリアカメラ配線にはそのままでは接続できません。別売の純正バックカメラ接続アダプター KK-H301BAⓂ(希望小売価格5,500円、税別)を使用すれば、RCA端子でリアカメラの映像を出力することが可能となります。
- (注6) 純正ステアリングリモコン(メーカー呼称「照明付」オーディオリモートコントロールスイッチ)またはディーラーオプションの「オーディオリモコンスイッチ」付車の場合、純正ステアリングリモコンにはそのままでは接続できません。オーディオ配線コネクタ(24P)までステアリングリモコン用配線が引き回されている場合に、別売のステアリングリモコンアダプター KK-H201STⓂ(希望小売価格8,000円、税別)、または別売のステアリングリモコンケーブル KJ-H101SC④(希望小売価格1,500円、税別)を使用すれば車両側配線との接続は可能ですが、取付ける商品によって使用する別売オプションや使用可否が異なりますので、商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や「純正ステアリングリモコン適合情報」等でご確認ください。但し、ランニングチェンジ(仕様変更)前の取付キットの場合はステアリングリモコンの信号取出用のケーブル(ギボシ)がないため、ステアリングリモコンアダプターまたはステアリングリモコンケーブルの取付説明書をご参照の上、車両側のステアリングリモコン用配線に直接接続する必要があります。
- (注7) ディーラーオプションのオーディオ付車で「トレードイン変換ハーネス」(24P→20Pに変換)、「サブフィーターキット」(ラジオアンテナ変換コード)を使用している場合は、「トレードイン変換ハーネス」、「サブフィーターキット」を外す必要があります。
- (注8) ディーラーオプションのナビ/オーディオ付車の場合は、取付キット KJ-H45DE④を使用して取付けることも可能です(KJ-H45DE④の場合は純正ブラケットを使用する取付けになり、KJ-H39DE④使用時より約6mm引っ込む取付けになりますので、あまりお奨めできません)。
- (注9) H24/4以降車にディーラーオプションのエクストラサイズメモリーナビコンポ(9.0型モニター)付車、および9インチプレミアムインターナビ付車の場合。
- (注10) H22/7~H23/10車に標準またはメーカーオプションのHonda HDDインターナビシステム付車、およびH23/10~H26/4車にメーカーオプションのHonda インターナビリンクアップフリー付車にも取付可能ですが、リアカメラや照明付オーディオリモートコントロールスイッチ等は使用できなくなります(但し、照明付オーディオリモートコントロールスイッチについては注6を参照してください)。
- (注11) 純正ブラケットは使用せず、取付キットに同梱の車種専用ブラケットを使用します。
- (注12) H23/10~H26/4車にメーカーオプションのHonda インターナビリンクアップフリー付車は、車両側のアンテナコネクタが新型(CE)コネクタに変更されている可能性があります。予め現車にてご確認ください。アンテナコネクタがCEコネクタの場合には、CE→JASOのアンテナ変換コネクタが付属されているKJ-H40DE④を使用して取付けてください(従来車はGTコネクタで、KJ-H39DE④使用で取付可)。なお、KJ-H40DE④を使用して取付ける場合は、純正ブラケットを使用する取付けになり、本体が少し(約6mm)奥に引っ込む取付けになります(窓口周囲に隙間はあきません)。
- (注13) KLS-HC801D④(希望小売価格16,000円、税別)の使用可否については未調査ですが、フリード(H24/4~H28/9)同様に使用可能であると推測されます。
- (注14) ディーラーオプションの9インチナビ付車は、窓口が異形の専用クラスター(フェイスパネルキット)を使用しているため、標準モデルの商品は取付不可。

〔取付キットの主な付属品の記号〕

接続可能な配線	配線コネクタが付属	電源用アンブロックが付属	取付キットに化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源(ACC、常時、イルミネーション)			P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。

〔別売オプション関係の記号〕 …… ホンダ車

◎	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合には、別売の化粧パネルが不要なことを表します。 D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合には、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
	FMダイバーシティアンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合で、パイオニア・FMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンプ/ハイダウェイチューナーを取付ける時には、別売のアンテナ変換コード RD-AN33(2,000円、税別)を使用します。
Ⓜ	車両の純正ステアリングリモコンが使用可能	別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。 (注) ……純正ステアリングリモコン付車でも、車種やグレード、仕様等により使用できない場合がありますのでご注意ください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

(FREED SPIKE-1007-DH135-26)

フリード スパイク (H22/7~H28/9) / フリード スパイク ハイブリッド (H23/10~H28/9)

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	カスタムフィット							注記 B	ボックスタイプ							ユニットタイプ			サテライト								
			TS-V173S	TS-C1730S C1730	TS-F1740S F1740	TS-C1630S	TS-C1630	TS-F1640S F1640					TS-X480G X380	TS-X180	TS-E1796	TS-E1676	TS-E1396	TS-E1076	TS-G1030	TS-STH1100	TS-STH700	TS-STX510							
ワゴン	Fドア	①	×	×	×⑨	×	×	×							×	×	×												
	キット使用	②	×	×	×	□④	□④	□④																					
	キット使用	⑬	×	×	×	□④	□④	□④																					
	インナーバッフル	⑥	×	×	×	□④	□④	□④																	×	×		×	×
	荷室側面	①	×	×	×⑨	×	×	×							×	×	×												
	キット使用	⑩⑬	×	×	×	×	□⑭	×																					
	インナーバッフル	⑪⑫	×	×	×	×	□⑭⑮	×																					

注記

① 純正スピーカーはクイックマウントタイプです。  
 ② カースピーカー取付キットUD-K116 (希望小売価格3,000円、税別、2個1組) 使用で可。TS-C1630S・C1630は端子を下方向にして取付けます。  
 ③ 17cmカスタムフィットスピーカーは奥行有効スペース不足で取付不可。  
 ④ 奥行有効スペースに余裕がないため (2.5~4mm)、車両によっては鉄板穴内のガラスレールに当たる場合も考えられますので、取付けの前に現車で確認をする必要があります。  
 ⑤ リアピラー部トリムの裏側にリブがあるため、ブラケットが入らず取付不可 (リブの切取加工も不可)。  
 ⑥ インナーバッフルUD-K714 (希望小売価格21,000円、税別、2個1組) / UD-K614 (希望小売価格10,000円、税別、2個1組) / UD-K524 (希望小売価格4,000円、税別、2個1組) 使用で可。なお、バッフルは鉄板穴の下部に隙間があかないように最も下側に寄せて固定します。  
 ⑦ TS-C1630S・F1640S・F1640は奥行有効スペース不足で取付不可。  
 ⑧ リアピラー部/Cピラー部共に、トリムの裏側にリブがあるためブラケットが入らず取付不可 (リブの切取加工も不可で、Cピラー部はリアドア開口部にもはみ出るため不可)。  
 ⑨ スピーカーに付属の樹脂ブラケットの取付け自体は可能ですが、奥行有効スペース不足で取付不可。  
 ⑩ 車両側のスピーカー取付穴3ヶ所のうち、上部1ヶ所が熔接ナットになっているため、カースピーカー取付キットUD-K116はブラケットが取付けられず使用不可。  
 ⑪ インナーバッフルUD-K714 (希望小売価格21,000円、税別、2個1組) / UD-K614 (希望小売価格10,000円、税別、2個1組) / UD-K524 (希望小売価格4,000円、税別、2個1組) 使用で可。但し、バッフルを取付ける際、車両側のスピーカー取付穴3ヶ所のうち、上部1ヶ所がM5熔接ナットになっているため、バッフルに付属のボルト/ナットで取付けることができません。従って、上部1ヶ所はM5×16~20mmのボルト (左右で2本) を別途用意して取付ける必要があります (下側の2ヶ所は付属のボルト/ナットで取付可)。なお、バッフルは前方斜め下方向に最も寄せて取付ける必要があります (中心や上に寄せて取付けると、スピーカーのマグネットが鉄板に当たる場合があります)。  
 ⑫ UD-K714/UD-K614使用時は、スピーカー取付ネジ4本のうち前方側上下の2本が、トリムのグリル裏側の円形リブに強く当たるため、円形リブのネジ頭が当たる部分のみ (2ヶ所) を切取る必要があります。なお、UD-K524使用時は、前方上側の取付ネジの頭が円形リブに少し当たりますが、切取加工は不要でグリルは取付可能です。  
 ⑬ 奥行有効スペースに余裕がなく、マグネットが鉄板穴内上方の凸凹面に近くなるため、スピーカーをなるべく前方斜め下方向に寄せて取付けます (車両によっては寄せて取付けても当たる場合がありますので、取付けの前に現車で確認をする必要があります)。  
 ⑭ 端子を上以外の方向にして取付けます (上方向では配線コードが鉄板に強く当たります)。  
 ⑮ カースピーカー取付キットUD-K123 (希望小売価格3,000円、税別、2個1組) 使用で可。端子を上方向にして取付けます。

〔カスタムフィットスピーカーの記号〕

◎	取付可 (スピーカーに付属のコネクター使用)	⊕	取付可 (別売の配線コードでの配線が必要)
◇	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等使用)	☒	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要)
□	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」使用)	☑	取付可 (別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要)
回	取付可 (別売の「インナーバッフル」使用)	×	取付不可
○	取付可 (配線加工が必要)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
◆	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要)		

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

◎	取付可	△	取付可 (別売の「スペーサー」使用)
●	取付可 (鉄板加工が必要)	▲	取付可 (別売の「スペーサー」使用で、鉄板加工が必要)
○	取付可 (スピーカーに付属のスペーサー使用)	□	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」使用)
●	取付可 (スピーカーに付属のスペーサー使用で、鉄板加工が必要)	×	取付不可
		空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(×)	取付不可 (サードシート未使用時に限り取付可)
		×	取付不可
△	条件付きで取付可 (注記参照)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

(FREED SPIKE-1007-DH135-26)